

## 【RDD(世界希少・難治性疾患の日)しまね 2026のイベントが開催されました】

去る3月1日、松江テルサにて、学生ボランティア団体「ぱらていみ」主催のマルシェが開催されました。この活動は、しまね難病相談支援センターも後援しています。

当日は、9店舗からの出店もあり多くの方にお越しいただき、島根県内で活動されている難病患者会の展示等も見ていただくことができました。

難病当事者によるブースもあり、難病について理解を深めてもらうことができ、とても良い機会となりました。

また、県内各地の図書館や県庁ロビーにて、難病の各患者会の紹介や難病に関する図書等の展示も行いました。

写真はマルシェと展示、図書館展示の様子です。

※RDDとは、RareDiseaseDay（世界希少・難病性疾患の日）の略であり、よりよい診断や治療による希少・難治性疾患の患者さんの生活の質の向上を目指し、スウェーデンで2008年から始まった活動です。日本でもその趣旨に賛同し、2010年より毎年2月最終日に全国各地でイベントが開催されています。

(マルシェの写真)





(図書館展示の写真)

